



脳の若さを保つ鍵： 最先端研究による認知症予防

講演1 7月11日(金)公開

「脳の活性酸素は二刀流!?
—活性酸素が脳の老化にも記憶学習にも関与する話—」

東京都健康長寿医療センター研究所 老化脳神経科学研究チーム 研究部長 柿澤 昌



講演2 7月18日(金)公開

「性ホルモンの働きによる
脳の健康維持と認知症予防」

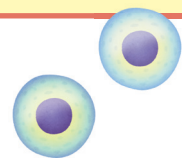
東京都健康長寿医療センター研究所 老化機構研究チーム 専門副部長 高山 賢一



講演3 7月25日(金)公開

「iPS細胞とオルガノイドが拓く
認知症研究と創薬」

慶應義塾大学殿町先端研究教育連携スクエア 特任准教授 森本 悟
慶應義塾大学再生医療リサーチセンター(KRM) 副センター長



視聴方法 視聴無料 申込不要

以下の URL もしくは二次元バーコードよりアクセスしてください。

<https://www.tmgig.jp/research/lecture/gerontology/>



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

総務係広報担当

03-3964-1141 (内線1240)
ホームページ <http://www.tmgig.jp/>

オンライン開催
第173回老年学・
老年医学公開講座

脳の若さを保つ鍵： 最先端研究による認知症予防

コーディネーター 東京都健康長寿医療センター研究所 自然科学系副所長 石神 昭人

私が大学生の時には、「脳は、一度機能を失ってしまうと再生できない」と教われました。しかし、科学や医療が発達した現代において、それは誤りです。今回の老年学・老年医学公開講座では、昔の誤った知識を覆す「最先端研究による認知症予防」について、3つの研究を紹介します。1番目は、患者扱いされてきた活性酸素が脳の老化だけでなく、記憶や学習にも重要な役割を果たす“二面性”を持つ新しい発見です。2番目は、性ホルモンが加齢とともに減少し、それが認知症リスクにも直結するという、予防医療の可能性に繋がる重要な発見です。3番目には、iPS細胞やオルガノイドによる認知症の病態解明や治療法開発に繋がる未来医療の最前線です。脳の若さを保つため、認知症を予防するためには、これら3つの鍵となる重要な研究を知ることがとても大切です。



講演1 7月11日(金)公開

「脳の活性酸素は二刀流!?

—活性酸素が脳の老化にも記憶学習にも関与する話—

東京都健康長寿医療センター研究所 老化脳神経科学研究チーム 研究部長 柿澤 昌

活性酸素は、老化や生活習慣病の要因の一つとして知られています。一方で、私たちの研究により、活性酸素は記憶や学習にも必要であることがわかってきました。本講演では、脳における活性酸素の「悪玉」と「善玉」としての働きについて、わかりやすくご紹介します。



講演2 7月18日(金)公開

「性ホルモンの働きによる脳の健康維持と認知症予防」

東京都健康長寿医療センター研究所 老化機構研究チーム 専門副部長 高山 賢一

性ホルモンには脳と生殖腺の相互作用により脳の健康を保つ力があります。加齢による分泌低下は老化を促進するとともに、認知症などの老年病の発症リスクにもつながっています。本講演は性ホルモン作用と認知症について近年の研究成果や当研究所での取り組みを概説します。



講演3 7月25日(金)公開

「iPS細胞とオルガノイドが拓く認知症研究と創薬」

慶應義塾大学殿町先端研究教育連携スクエア 特任准教授 森本 悟
慶應義塾大学再生医療リサーチセンター(KRM) 副センター長

認知症などの神経疾患の克服に向けたiPS細胞研究の最前線を解説します。患者さんの細胞を用いて病態モデルを作製し、病気の原因や進行を解明するとともに、新たな治療法や創薬への道を切り開く最新の研究成果をわかりやすく紹介します。



視聴方法

視聴無料

申込不要

以下のURLもしくは二次元バーコードよりアクセスしてください。

<https://www.tmghig.jp/research/lecture/gerontology/>



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

総務係広報担当

03-3964-1141 (内線1240)

ホームページ <http://www.tmghig.jp/>

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。